

# HB-X1

今までのスピーカーシステムを打ち破り、世界的に高い評価を受けたKiso Acoustic HB-1。あれから4年…。新たなる感動が生まれます。

Kiso Acoustic HB-1は、高峰楽器製作所のノウハウを結集した高度な楽器製作技術によるキャビネットと、入念なスピーカー調音作業の融合により誕生しました。楽器などと同じ薄く軽いキャビネットを用いることで、澗刺とした音楽再生を実現。リスニング空間においてHB-1の創出する、あたかも生演奏が行われているような豊かな音楽再現は、まさに楽器そのものと賞賛されました。



新設計されたKiso Acoustic HB-X1は、こうした特長を引き継ぎつつ、さらなるオーディオの高みに導きます。クロスオーバーネットワークには、世界最高級と謳われている独ムンドルフ社製のコイル、コンデンサ、抵抗を採用。表皮効果や振動特性に優れた銅箔コイル、超低損失のコンデンサをはじめ、高性能のネットワーク素子を贅沢に用い、最適な回路設計を行うことにより、選別したスピーカー

ユニットの能力を余すところなく引き出すことに成功しました。また、新たなクロスオーバーネットワークのポテンシャルを最大限に発揮するため、各部を見直しました。キャビネットの力木(ちからぎ)の配置、形状をはじめ、台座部の形状、底板の素材、配線材などの細部に至るまで、長期間に渡るカット・アンド・トライを行いました。その結果、分解能の改善、大幅なノイズフロアの低下などを達成しました。これにより、パースペクティブな音場感が高まり、良好な音像定位によって目前で演奏しているようなリアリティさが飛躍的に向上しました。



Kiso Acoustic HB-X1は、HB-1と同様にキャビネット内部に吸音材を一切使用していません。一般的なスピーカーシステムでは、キャビネットの箱鳴きを抑えるためにさまざまな振動対策がとられ、内部補強や吸音材が必ず使用されています。アコースティック楽器と同じ内部構造を持つKiso Acoustic HB-X1は、小さなバイオリンが大きなコンサートホールの隅々まで音が響き渡るように、リスニング



ルームにおいても豊潤な音楽を醸し出します。さらに、アコースティック楽器が持つ気品のある装飾を、Kiso Acoustic HB-X1はキャビネットにも取り入れました。天然木のパーフレリング、ローズウッドバインディングを採用し、高峰楽器の熟練したクラフトマンが時間をかけ、キャビネット外周に美しい装飾を施しました。また、フロントパネルにはハードメイプルを使用し、ハイグレードなピアノブラック仕上げが印象的です。HB-X1は、弦楽器から木管、金管、打楽器、ピアノ、ボーカルまでのあらゆる音源、多様なジャンルの音楽を抜群のリアリティで再現します。さらに、大編成のオーケストラ作品をも、コンパクトなキャビネットからは到底考えられないようなスケール感で朗々と奏でます。HB-X1のもたらす音楽空間を、心ゆくまでお楽しみください。

## 主な仕様

形式	: 2 way バスレフ型
ウーファー	: 10cm コーン型
トゥイーター	: 1.7cm ウッドホーン黒檀削り出し
定格インピーダンス	: 8Ω
定格感度レベル	: 85dB/W/m
定格周波数範囲	: 40 ~ 30,000Hz
クロスオーバー周波数	: 5,000Hz
最大外形寸法 (mm)	: H320×W148×D224
質量 (1台)	: 5.2kg
仕上げ	: グロスフィニッシュ
ターミナル	: パナナプラグ対応ロジウムメッキテルリウム銅削り出し

アコースティック楽器の独特な構造をもつHB-X1のキャビネットは高峰楽器製作所によって材料、加工、仕上げを行っております。楽器に使用されている板材は無垢の材料であるため、通常の製品と比べて環境に対して敏感です。変形や割れなどを防ぐため、設置環境につきましては、湿度の極端に低いところや高いところ、温度の高い場所は避けていただくようお願いいたします。また無垢材ならではの個性や質感を活かした設計であるため、色調や木目感につきましては、製品1台ごとに異なります。



台座部分には、光輝ロジウムメッキ仕上げのHB-X1ネームプレートが取り付けられています。



スピーカー端子には、テルリウム銅削り出しのロジウムメッキターミナルを採用。



低域のレスポンスを高めるダクト形状。メイプルウッドの積層ブロックを削り出して作られます。



台座内部に収納されたクロスオーバーネットワーク。内部配線材にはドイツ製のリッツ線を使用。



HB-X1 ¥1,700,000 (税抜き) / ペア  
※写真の専用スタンド (PODIUM STAND) は別売りです。